

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重点課題	高齢者の移動手段の確保
事業名	
高齢者移動サービス	
地域の課題（背景）	
・地域の高齢化が進んでおり、今後ますます重要になる事業である。 ・高齢者の生活基盤となる買い物や通院等について、移動の手段に困っている。 ・デマンド交通、巡回バスがあるが、利用するには、不便を感じる面が多い。 ・事業の支えとなるボランティアの高齢化、人数の減少。 ・サービス利用者の個別課題により、対応が困難な利用者が増えつつある。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・ボランティア（運転、予約受付配車）の恒常的な発掘。 ・デマンド交通網とのマッチングで地域住民のニーズに対応する。 ・ボランティア（運転、受付）間で利用者情報を共有し、「見守りネットワーク」に情報提供する体制を構築する。	
自助(自分でできること)	
・ボランティア（運転、受付）活動への協力依頼 ・区長、自治会長、民生委員児童委員と連携し、利用者の状況を注視する。 ・市、市社協との連携。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・参考となる情報の提供。 ・活動に関するPR。 ・必要経費に対する助成。	

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重点課題

高齢者の憩いの場の提供

事業名

石津地区サロン運営事業

地域の課題（背景）

- ・高齢化、独居、核家族化が進む地域である。
- ・高齢者が集まる機会が減少し、交流の場が少ない。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・毎月1回（第4金曜日）、地区社協事務所にて定期的を開催する。
- ・サロンに合わせて、野菜や果物などの朝市を開催し、参加者の増員を図る。
- ・石津地区内でサロン事業未実施の区、自治会にサロン実施への支援を行う。

自助(自分でできること)

- ・「地区社協だより」の掲載による広報と口コミにより参加者を集める。
- ・「朝市」に協力してもらう農家との連携を更に図り、出品物の内容を充実させる。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・市内、市外のサロン運営等の情報提供をお願いしたい。

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

地域コミュニティの核である小学校との連携

事業名

世代間交流推進事業

地域の課題（背景）

- ・家族、地域でのコミュニケーションを図る機会が減少している。
- ・三世代交流となる活動や行事が減少しつつある。
- ・小学校と地域の連携による「コミュニティースクール」活動に協力を求められている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①米づくり体験活動（石津小学校の行事に協力）
 - ・農事組合田鶴ファームおよびJAにしみの経済営農センターの協力を得、地区社協の三者の特徴を合わせた支援を行い「米生産」の1年間の体験学習を行い、児童に地域とのつながりを感じてもらう。
- ②さつま芋作り体験活動（石津小学校、認定こども園に協力）
 - ・田鶴地区の農業ボランティアの指導を得て、地区社協の有志も参加する。他地区からの協力も得て焼き芋パーティーを広域連携での開催支援をする。
- ③福祉標語の募集
 - ・石津小学校の6年生を対象に、福祉に関する標語を募集する。
 - ・全員に参加賞を贈呈し、優秀作品（12点）を選定し、石津地区社協だよりに掲載する。

自助(自分でできること)

- ・農業ボランティアなど、活動に協力してくれる仲間を募る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・他地区の開催状況等の情報を提供して欲しい。

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり

事業名

スクールボランティア

地域の課題（背景）

- ・車社会となり、児童の登下校時の安全や、近年では変質者も各地で報告されている。
- ・ボランティアも高齢化し、活動の低下が懸念される。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・石津小学校と連携し、登下校時の見守り活動を継続する。
- ・ボランティア間の情報共有を図り、区、自治会と連携した人材の確保を図る。

自助(自分でできること)

- ・児童の登下校時の見守り活動。
- ・メンバーでの情報共有や新しい人材の確保を図る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・地域の運転手への安全運転の啓発。
- ・地域の方への活動への理解を深めるための周知や他地区での活動団体との情報交換会などを行って欲しい。

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり
事業名	
地域安全（青色安全パトロールの実施）	
地域の課題（背景）	
・空き家などへの「忍び込む」や空き巣などの犯罪の増加や小学校児童の下校時の安全確保への対策が必要な状況。 ・行方不明高齢者やごみの不法投棄など、関係機関との連携が必要となる事案が発生する恐れがある。 ・ボランティアの高齢化と減少。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・青色防犯パトロールを実施することで安全対策がされている地域であるとアピールをする。 ・ボランティアの協力者の確保に努め、パトロールの回数を維持する。 ・行方不明者の捜索やごみの不法投棄の発見などの協力の継続。 ・石津小学校、行政、警察等との連携、情報共有。	
自助(自分でできること)	
・児童の下校時を中心とした見守り活動とその活動中のゴミ不法投棄場所の発見など。 ・区、自治会との連携およびボランティアの協力依頼	
公助（行政や社協に依頼すること）	
警察との連携、情報の提供。	

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり
事業名	
災害対策	
地域の課題（背景）	
・災害はいつ発生するか分からないが、そのうちいつか必ず発生することを前提に対策をする。 ・区、自治会は災害発生時は地区内の住民の安全確保が第一義となることから、地域（小学校区）を俯瞰する災害対策が必要。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・防災士会や行政機関と連携し、学習会や講演会を計画する。 ・区、自治会と密に連携し、事業を行う。	
自助(自分でできること)	
・防災士との日常的なつながりの確保。 ・地区社協運営委員会での情報共有。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・市役所担当部署からの情報や物品の提供。	

令和7年度 石津地区福祉活動計画

重点課題

地区社協の活動を広く周知する

事業名

地区社協活動の効率化および周知啓発

地域の課題（背景）

- ・地区社協活動が地域住民に浸透していない。
- ・地区社協活動状況を地域の方に知ってもらい、活動に参加してもらうことが必要。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

（会議）

- ・総務部会の打合せはSNS等を使用し、効率化を図る。
- ・運営委員会は年6回開催し、定例化する。
- ・理事会は年2回以上開催し、石津地区の課題抽出を行う。
- ・評議員会は理事会からの提案を基に、原則年1回以上開催する。

（会計事務）

- ・老朽化した拠点事務所の管理、整備、保有車両およびPC等機材の維持、保全。
- ・管理人材の育成を図る。

（基盤強化）

- ・地区内外の異業種組織との交流を進め、次世代の交流の輪を広めるとともに、基盤の強化を図る。

（情報発信）

- ・「石津地区社協だより」を年6回発行し、各区、自治会に配布する。
- ・編集委員会体制を確立し、月2回の編集会議を開催。
- ・新たな人材の確保。
- ・SNS等の活用を検討。

（その他）

- ・石津地区社協設立（2011.1）から15年の節目を迎えるため、記念事業等を企画する。

自助(自分でできること)

- ・「石津地区社協だより」を見やすく読みやすい紙面とし、活動報告を掲載する。
- ・協賛企業を募り、自主財源を確保。
- ・15周年記念式典に向けて、地域住民への周知

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・情報の提供など、紙面づくりへの協力。